

平成 28 年度

高知市の予算概要

— 夢と希望にあふれる「にぎわいと暮らし安心のまちづくり」 —

2016



KOCHI CITY



2016年3月 高知市



平成28年度



高知市の予算概要

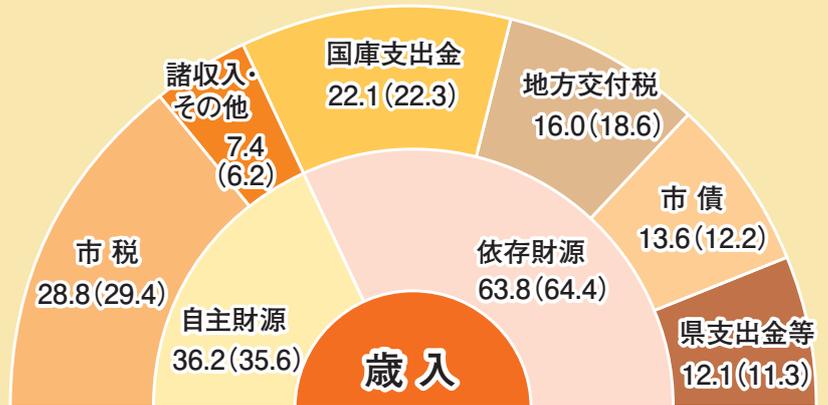
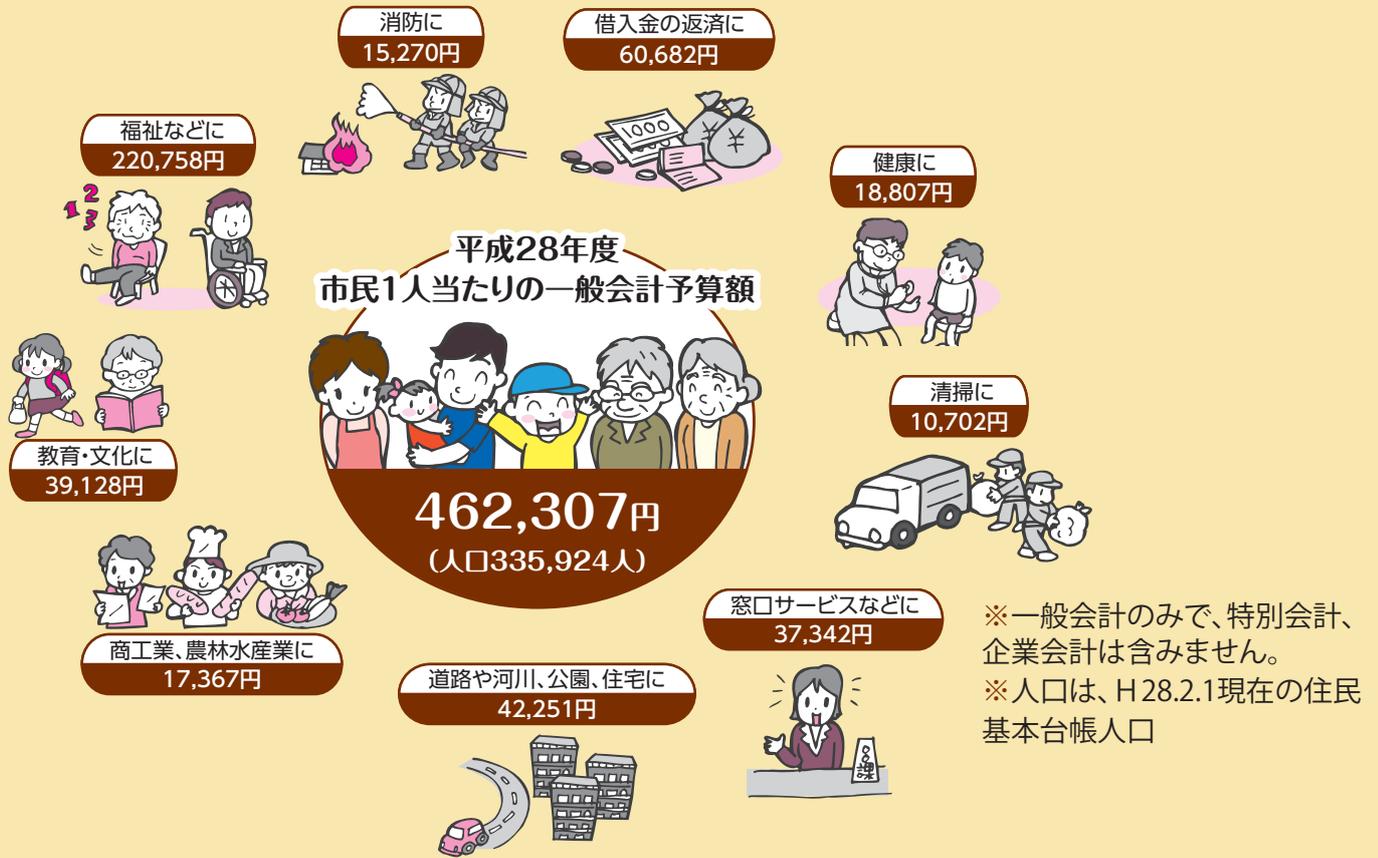
— 夢と希望にあふれる「にぎわいと暮らし安心のまちづくり」 —



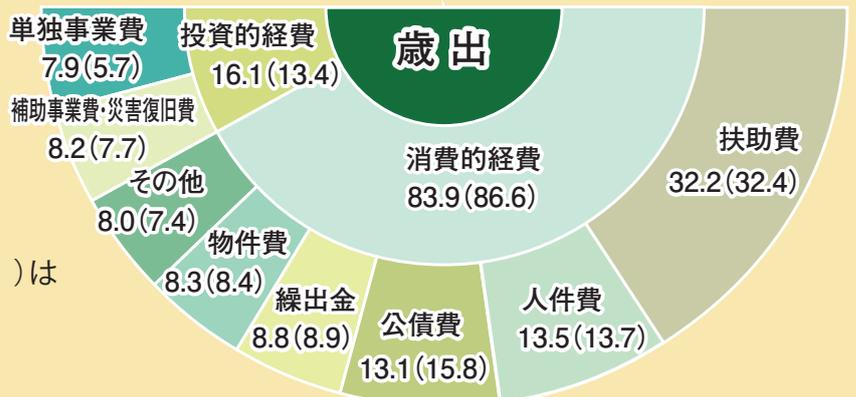
CONTENTS

一般会計予算	3
主な項目	4
①共生の環	5~6
②安心の環	7~8
③育みの環	9~11
④地産の環	12~13
⑤まちの環	14~15
⑥自立の環	16

平成28年度高知市一般会計予算と 市民1人当たりの一般会計予算額



総額1,553億円 (1,509億円)



※数字は構成比%、()は
平成27年度当初予算

平成28年度高知市予算の主な項目

1	共生の環 246億2,768万円	<ul style="list-style-type: none"> ◆自然の理解と共生の環境づくり 1億3,196万円 ◆自然豊かなまちづくり 9億1,026万円 ◆環境汚染の防止 184億6,621万円 ◆共生文化の継承と創造 85万円 ◆減災対策の強化 3億689万円 ◆環境負荷の少ない循環型社会の形成 35億7,048万円 ◆地球温暖化防止への貢献 1億6,424万円 ◆平和を守り人権を尊重する社会づくり 5億3,688万円 ◆市民協働によるまちづくり 5億3,991万円
2	安心の環 535億3,909万円	<ul style="list-style-type: none"> ◆いきいき安心の高齢社会づくり 109億2,339万円 ◆障害のある人が安心して暮らせる環境づくり 96億8,821万円 ◆安全安心の生活環境づくり 46億6,157万円 ◆安心して生活できる社会保障の充実 282億6,592万円
3	育みの環 379億4,813万円	<ul style="list-style-type: none"> ◆子どもを生き育てやすい環境づくり 258億120万円 ◆未来に翔る土佐っ子の育成 57億2,675万円 ◆いきいき学び楽しむ生涯学習・スポーツの環境づくり 58億1,977万円 ◆多様な文化を身近に親しむ環境づくり 6億41万円
4	地産の環 255億6,512万円	<ul style="list-style-type: none"> ◆山間の恵みを活かす林業の振興 1億740万円 ◆大地の恵みを活かす農業の振興 23億9,662万円 ◆海川の恵みを活かす漁業の振興 2億5,255万円 ◆独創性あふれるものづくりの振興 16億203万円 ◆魅力あふれる商業の振興 9億7,798万円 ◆あったか土佐のおもてなし観光の充実 200億8,059万円 ◆いきいきと働ける社会づくり 1億4,795万円
5	まちの環 252億8,542万円	<ul style="list-style-type: none"> ◆美しく快適なまちの形成 23億8,943万円 ◆にぎわう市街地の形成 6,472万円 ◆便利で快適な交通網の整備 52億1,389万円 ◆安全安心の都市空間整備 176億1,738万円
6	自立の環 8億9,714万円	<ul style="list-style-type: none"> ◆さらなる広域連携・交流の推進 2,528万円 ◆持続可能で自立した行財政の基盤づくり 8億6,309万円 ◆住民による自治の環境づくり 877万円

1 共生の環

246億2,768万円



■自然の理解と共生の環境づくりに1億3,196万円

- ▶環境学習の推進に486万円
- ・県森林環境保全基金を活用して森林や山に対する理解を深める森林環境教育推進事業に343万円を計上
- ・環境問題の広報・啓発活動として環境民権運動推進に13万円、保存樹木等助成に72万円措置
- ▶生態系の保護としてアニマルランド運営に1億2,710万円を計上

■自然豊かなまちづくりに9億1,026万円

- ▶森林の保全・整備に3,163万円
- ・民有林の保護育成に434万円、うち森林保全推進事業補助に30万円、造林支援事業補助に200万円、森林整備地域活動支援に204万円を計上
- ・協働の森づくりに1,161万円、うち企業の支援による協働の森づくり事業に580万円を措置
- ・市民の森整備に500万円を計上
- ・市有林の適正管理に786万円、うち市有林造林事業に600万円を計上するとともに、県J-VER制度（オフセット・クレジット）を活用したCO2削減への取組に146万円を措置
- ・保安林の適正管理に282万円、うち防潮林管理に104万円、保安林環境保全事業に54万円を措置

- ▶里山の保全と再生に230万円
- ・里山保全啓発推進として79万円を計上
- ▶農地の保全に5,202万円
- ・遊休農地対策として5,175万円を計上。うち中山間地域農村集落活性化対策に5,032万円を計上
- ▶海洋・河川環境の維持・保全に1,174万円
- ・浦戸湾・7河川一斉清掃に99万円を計上
- ・鏡川清流保全対策に1,075万円を計上
- ▶みどり豊かな市街地づくりに8億1,258万円
- ・都市の緑化対策として6億4,758万円。うち花ストリート整備に1,700万円、花とみどりのまちづくりに700万円、花のよさこいタウン春花祭に536万円を計上
- ・公園整備に4,300万円を計上。
- ・公園遊園整備改良として、子どもや高齢者をはじめ誰もが安全で安心して利用できる公園整備を推進していくための公園遊具の整備などに1億2,200万円を計上

■環境汚染の防止に184億6,621万円

- ▶公害対策の推進に1億1,094万円
- ・公害対策事業として、環境監視事業に102万円、大気汚染防止に2,323万円、水質汚濁防止に421万円、ダイオキシン類発生防止対策として292万円、アスベスト発生防止対策に26万円を措置

- ▶生活排水対策の推進に183億5,527万円
- ・公共下水道の面的整備等に23億9,250万円、うち秦排水分区の雨水管築造等に1億2,000万円を措置
- ・単独下水道事業では、各処理区の管渠築造等に10億7,300万円を計上
- ・団地下水道の維持管理に1億2,494万円を措置
- ・浄化槽設置補助に5,490万円を計上し、浄化槽適正管理には423万円を計上

■共生文化の継承と創造に85万円

- ▶地域文化の再発見と継承と創造に46万円
- ・指定文化財保存に43万円を計上
- ▶食を通じた地域文化の継承と創造として、市民農園貸付事業に39万円を計上

■減災対策の強化に3億689万円

- ▶地域防災力の向上のために7,493万円
- ・自主防災組織育成強化推進に5,500万円、防災施設整備事業補助に1,300万円を計上
- ・防災人づくりに217万円、地域防災力育成に367万円を措置
- ▶災害対応力の強化のために2億3,196万円
- ・災害情報の収集伝達として、防災行政無線のデジタル化整備に2,660万円を計上
- ・災害救助物資・資機材等の備蓄として、1億4,024万円を計上。うちヘリサイン整備に1,400万円、毛布等の災害救助物資備蓄に2,224万円、避難所への簡易型トイレの設置に3,800万円、福祉避難所への資機材等整備として900万円を措置

■環境負荷の少ない循環型社会の形成に35億7,048万円

- ▶廃棄物の発生抑制・再利用の推進に3億1,805万円
- ・ごみの減量・再利用等に2億9,136万円。うち資源ごみ・不燃ごみ等の収集に2億2,728万円、水銀含有ごみ処理に1,748万円、特定家庭用機器再商品化推進に40万円、東部環境センターのし尿汚泥の堆肥化推進に880万円を計上するとともに、資源物等持ち去り防止パトロールに363万円を計上
- ・エコ産業団地の整備推進などエコタウン推進に1,294万円を計上
- ・まちを美しくする市民活動の推進に1,375万円を計上
- ▶廃棄物の適正な処理に32億5,243万円
- ・清掃工場整備に4億8,036万円

- ・プラスチック減容工場整備に900万円、最終処分場整備に800万円
- ・一般廃棄物等適正処理のための収集処理体制の充実に25億4,630万円。うち可燃ごみ等収集に10億1,823万円、ごみ処理に10億6,208万円、し尿処理に3億118万円を計上
- ・一般廃棄物等の適正処理に6,607万円、うちごみ適正処理対策に154万円を計上
- ・産業廃棄物等の適正処理に3,619万円を計上
- ・東部環境センター整備に7,000万円
- ・環境事業公社運営補助等に3,650万円措置

■地球温暖化防止への貢献に1億6,424万円

- ▶人にやさしい低炭素都市の実現に1億6,424万円
- ・地球環境への負荷低減として1億2,903万円を計上
- ・低炭素エネルギー活用の促進に3,521万円を計上

■平和を守り人権を尊重する社会づくりに5億3,688万円

- ▶憲法の意義を理解し平和を尊び守る社会づくりとして、平和の日記念事業費に111万円を計上
- ▶人権を尊重する社会づくりに4億7,315万円を計上。うち学校人権教育推進に1億1,028万円、社会人権教育推進に1億63万円、人権同和啓発推進に2億2,597万円、市民組織の育成・啓発に1,050万円を計上
- ▶男女共同参画社会づくりとして、男女共同参画推進事業、男女共同参画センター事業推進等に6,263万円

■市民協働によるまちづくりに5億3,991万円

- ▶地域コミュニティの活性化に3億7,289万円
- ・町内会連合会補助に511万円、地域安全事業補助に851万円、コミュニティ集会所等施設整備補助に800万円、コミュニティ施設等整備補助に920万円を計上するとともに、子どもまちづくり活動等に709万円を計上
- ▶NPO・ボランティア活動の推進に2,213万円。うち市民活動サポートセンター運営に2,173万円を計上
- ▶情報共有の推進に9,705万円
- ・情報公開の推進に358万円
- ・あかるいまち発行に8,575万円、点字広報に352万円を計上、テレビ広報に420万円を計上
- ▶地域福祉の推進として、地域福祉活動推進に4,785万円を計上

2 安心の環

535億3,909万円



■いきいき安心の高齢社会づくりに109億2,339万円

▶生涯現役のまちづくりに4,136万円、うち高知市老人クラブ連合会補助1,810万円、高齢者の生きがいつくり促進に1,844万円を計上

▶介護システムの充実に46億5,844万円

・介護サービスの質の向上に71万円を措置、うちうち笑顔マイレージ推進など、介護保険事業の運営に対して一般会計からの負担41億8,298万円を計上

・施設・居住系サービス整備に4億7,475万円を計上

▶いきいき高齢者のまちづくりに60億9,812万円

・生活支援サービスの充実に3,802万円、うち日常生活用具給付等に40万円、緊急通報体制等整備に336万円、高齢者あんしん相談に49万円、軽度生活援助に10万円、高齢者等訪問理美容サービスに19万円、寝具洗濯乾燥消毒サービスに17万円、成年後見センター運営補助に1,293万円、生活支援ハウスの管理運営に1,535万円、高齢者共同生活住宅運営に34万円、高齢者緊急短期入所に20万円を計上

・介護支援事業に2,322万円、うち高齢者住宅リフォーム事業に757万円、生きがいデイサービスに729万円、地域交流デイサービスに836万円を計上

・福寿園の管理運営等に1,409万円

・高齢者保護施設費に5億4,408万円を措置

・老人福祉センターに7,264万円を措置

・介護保険サービス低所得者対策に70万円を計上

・老人医療事業に30万円

・後期高齢者医療に54億507万円、うち後期高齢者医療広域連合負担に42億7,575万円、後期高齢者医療事業特別会計への繰出10億5,965万円、後期高齢者特定健康診査等に2,245万円、後期高齢者はり・きゅう・マッサージ施術助成に530万円を計上

▶その他の高齢者福祉に1億2,547万円

■障害のある人が安心して暮らせる環境づくりに96億8,821万円

▶障害のある人への支援に94億3,046万円

・難病対策に1億5,773万円、うち小児慢性特定疾病医療、身体障害児育成医療、未熟児養育医療などの医療対策に1億3,029万円措置

・障害者医療助成に9億9,795万円、特別障害者手当等に1億1,800万円を措置

・在宅生活支援に78万円、うち障害者相談員費に76万円を計上

・自立支援に77億234万円、うち更生医療に11億189万円、補装具支給に7,900万円、自立支援給付に61億3,100万円、地域生活支援事業に2億8,792万円を計上

・その他の障害者福祉の充実に4億5,365万円、うち心身障害児(者)扶養共済制度の加入者保険料補助に2,739万円を計上

▶社会参加への支援に1億9,156万円

- ・社会参加促進に1億3,358万円、うち新たに手話普及啓発30万円など地域生活支援事業に8,877万円、日常生活支援に3,078万円、心身障害者小規模作業所援護に1,080万円を措置

- ・点字図書館に5,798万円、うち点字情報ネットワークに254万円、情報処理技術取得推進に36万円、ボランティアの育成に134万円、視覚障害者情報文化の推進に44万円

- ▶障害のある子どもへの支援に6,619万円

- ・子どもが地域で育つ時に生じる様々な問題の解決に向けて、発達支援や家族への支援等を行う子ども発達支援センター運営などに453万円を計上

- ・学校設備の整備など、学校教育での支援に287万円

■安全安心の生活環境づくりに46億6,157万円

- ▶生涯にわたる心身の健康づくり支援に17億8,633万円

- ・母子の健康づくりに5億3,287万円、うち新たに新生児聴覚検査をはじめ、妊婦一般健診、乳児一般健診、1歳6か月児及び3歳児健診等の健康診査に3億3,082万円、育児相談、育児学級、乳幼児育成指導、産後ケア等に316万円、不妊治療助成に8,683万円、生後4か月までの乳児のいる家庭への支援として、こんにちは赤ちゃん事業に68万円を計上

- ・成人の健康づくりに2億8,019万円、うち女性支援のためのがん検診推進、乳がん検診、大腸がん検診等の健康診査に1億2,738万円を計上

- ・理解と交流推進として、こころの健康づくりに7,075万円、うち自傷他害の恐れのある精神障害者の措置事業、自殺予防の啓発等の精神保健に491万円、高知市精神障害者家族連合会等補助に7万円を計上

- ・食育による健康づくりに120万円を計上

- ・口腔保健支援センターなど歯科保健の推進に477万円を計上

- ・予防接種の推進に8億6,816万円、うち日本脳炎、麻しん風しん混合、ポリオ、インフルエンザ、子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌等の法定予防接種に8億195万円を計上

- ・その他の健康づくり推進に2,839万円、うち健康教育、健康相談、訪問指導に271万円、国民栄養調査に279万円を計上

- ▶安心の地域医療体制づくりに23億9,171万円

- ・地域保健推進に812万円、うち衛生検査所指導、薬事等指導、医療安全支援センターの運営等の保

- 健所事業に672万円、地域保健推進支援に50万円を計上

- ・地域医療体制の充実として医療体制整備に2億292万円、うち休日夜間急患センター、平日夜間小児急患センター運営や、小児、眼科の救急医療支援など救急医療体制等整備に1億9,826万円、災害医療救援活動推進や災害医療情報通信網整備に466万円を措置

- ・高知医療センターへの運営負担に19億7,392万円、土佐山地区のへき地診療所事業繰出金に1,471万円を計上

- ▶食の安全の確保に1億5,992万円

- ・食品安全推進、食品営業許可等指導、検査機器等精度管理などの食品保健に9,451万円を計上

- ・獣疫予防に6,541万円、うち食肉衛生検査に880万円、牛海綿状脳症検査に303万円を計上

- ▶衛生的な生活環境づくりに1億5,595万円

- ・衛生害虫等の駆除に3,262万円を計上

- ・動物の愛護として動物愛護推進に140万円、猫不妊去勢手術助成として536万円を計上

- ・監視指導の充実に93万円措置

- ・狂犬病予防対策に318万円措置

- ・公衆浴場施設への支援として192万円、小動物管理センター管理運営に1,979万円措置

- ▶健康危機管理体制と感染症対策の強化に7,942万円

- ・結核・感染症対策に7,942万円、うち結核対策に1,540万円、結核予防に270万円、風しん対策や緊急肝炎ウイルス検査など、感染症対策に1,464万円を計上

- ▶消費者の権利の尊重と自立支援に8,824万円

- ・消費者行政強化事業に322万円を計上

■安心して生活できる社会保障の充実に282億6,592万円

- ▶低所得者福祉の充実に242億4,199万円

- ・生活保護に220億3,917万円、誠和園では施設運営等に2億6,183万円を計上

- ・生活困窮者自立支援に6,129万円、臨時福祉給付金などの支給に18億7,970万円を措置

- ▶国民健康保険の健全運営に一般会計からの繰出金37億330万円を計上

- ▶その他の社会保障の充実に3億2,063万円、うち中国残留邦人等生活支援に1億5,701万円、国民年金に5,248万円を計上

- ・民生委員協議会補助等に1億715万円を計上

3 育みの環

379億4,813万円



■子どもを生き育てやすい環境づくりに258億120万円

▶子育て支援の充実に257億227万円

・子育て家庭支援として児童手当に52億1,449万円、子ども医療助成では、新たに対象を所得制限なしで小学生まで拡充し、7億6,815万円を計上、助産施設措置に3,940万円、要保護・準要保護児童生徒対策に4億5,794万円、幼稚園就園奨励に7,813万円を措置

・ひとり親家庭支援として児童扶養手当に21億8,541万円、災害遺児手当に51万円、ひとり親家庭医療費助成に2億9,869万円を計上

・母子生活支援施設に4,462万円を計上。うち母子生活支援施設の措置費として4,078万円、民間母子生活支援施設「ちぐさ」の整備補助として384万円を措置するとともに、母子・父子・寡婦福祉対策としては、母子家庭等就業・自立支援センター運営に562万円、母子家庭高等職業訓練促進給付に

5,400万円、母子・父子自立支援プログラム策定事業に40万円を計上するなど6,519万円を措置

・保育サービスの充実に120億226万円を計上。うち民間保育所運営に66億3,329万円、認定こども園運営に14億3,800万円、小規模保育施設運営に2億5,000万円、市立保育所運営に30億7,877万円を計上のほか、障害児加配保育士雇用補助に3億800万円、延長保育促進事業補助に3,800万円、一時保育促進事業補助に6,034万円、ほのぼの保育に288万円、家庭支援推進保育に5,277万円、低所得者層に対する学用品費等の助成として保育施設補足給付に300万円を措置。

・幼児教育の振興として2億187万円を計上。うち心身障害児の就園する私立幼稚園に対する補助として2,240万円を措置

・放課後子どもプランの充実に8億2,939万円を計上。うち放課後児童クラブの運営に6億7,929万円、放課後子ども教室の運営に1,451万円、小学4年生から6年生を対象とした放課後学習室運営に5,210

万円措置、放課後児童クラブの整備補助に1,628万円を計上

・保育所施設整備に27億7,215万円を計上。うち民間保育所施設整備では、おさなごの園など6園の改築等事業補助に10億7,239万円、市立保育所施設整備では、秦中央保育園改築に1億4,000万円、大津保育園改築に4億7,000万円、宮前保育園改築に4億6,000万円を計上。

・母子父子寡婦福祉資金貸付事業に2億5,400万円

・心身障害児福祉年金に94万円

・その他の子育て支援に4億6,847万円を計上

▶子どもを大切に育てるまちづくりに9,894万円

・子育て支援拠点事業として母子生活支援施設に724万円、健康福祉センター2か所に1,586万円、民営保育所5園等に設置する地域子育て支援センター事業に3,340万円を計上するとともに、子育て支援拠点施設補助として「はるの・わくわくぽけっと」に494万円を措置

・保育と仕事が両立できるよう変則的な保育ニーズ等に対応するファミリー・サポート・センター事業に1,342万円、親子絵本ふれあい事業に101万円、新たに子育てサークル・集いの場支援事業補助として50万円を措置

・児童虐待予防に447万円を計上

■未来に翔る土佐っ子の育成に57億2,675万円

▶心と体の健やかな成長をめざした支援の充実に1億3,298万円

・長期欠席・不登校対策に2,525万円を計上。うち教育相談事業に1,535万円、不登校対策総合支援に166万円を措置

・心の教育推進では、心のふれあい支援事業に488万円、学校カウンセラー推進事業に2,406万円措置のほか、いじめ問題対策の推進に55万円を措置

・食育の推進として小中学校食育・地場産品活用推進に115万円を計上

▶確かな学力をつけるための授業改革に2億7,336万円

・基礎学力の定着と学力の向上に2億5,965万円措置、児童生徒の学習支援として学習チューター派遣事業に248万円、放課後等学習支援員配置事業に9,007万円、中学校学習習慣確立推進事業に1,708万円、高知チャレンジ塾の運営に3,211万円、図書館支援員の配置に9,693万円、探求的な授業づくり研究実践に380万円、新たに小中学校の学力向上対

策第二ステージ事業として810万円を措置。

・教職員の資質・指導力の向上に1,371万円を計上。うち教職員研修推進に146万円、中核市教育委員会教職員研修に675万円を計上

▶子どもたちの進路を保障する指導に193万円

・進路指導の充実として児童生徒自立支援教室運営に193万円措置

▶組織として機能する学校づくりに8,702万円

・活力ある学校づくりとして8,517万円を計上。うち国際理解教育推進に5,603万円、小学校における外国語活動推進に1,273万円、学校個性化推進に702万円、外国語教育推進プラン実践に40万円を計上するとともに、新たに学校支援地域本部運営事業として150万円を措置

・開かれた学校づくりとしてシニアネットワーク推進に69万円を計上するとともに、中一ギャップの解消などを目的とした高知市コミュニティ・スクールの推進に37万円を計上

▶教育環境の充実を図るための施設整備に7億6,990万円

・学校施設整備として7億6,990万円を計上。うち朝倉第二小学校屋内運動場改築に5,500万円を計上するとともに、新たに横浜小学校屋内運動場改築に3億7,600万円を計上、その他の施設整備として、小学校施設整備に5,720万円、中学校施設整備に7,000万円、商業学校整備に2,500万円、特別支援学校の整備に250万円、かがみ幼稚園の施設整備に100万円措置

▶青少年を守り育てるまちづくりに1億9,999万円

・青少年健全育成に1,406万円を計上

・青年センター事業に3,962万円、補導センター事業に4,684万円を計上

・工石山青少年の家に9,946万円を計上

▶高等学校教育の充実として商業学校教育事業に7億936万円を計上、うち進路指導強化に70万円を計上

▶その他の学校教育事業に35億5,221万円

・教育指導運営等事業に11億2,643万円。うち教育研究奨励事業に288万円、いきいき土佐っ子育成事業に603万円、奨学資金に7,750万円、教育課程拠点校事業に80万円、学校教育情報化システム管理に2億208万円を措置のほか、教員補助員配置事業に6,037万円を計上

・小学校教育事業に18億2,352万円、うち学校教材整備に1億6,614万円、学校図書整備に2,105万円、

給食業務等の委託に3億5,705万円を措置

- ・ 中学校教育事業に5億2,135万円、うち学校教材整備に1億4,708万円、学校図書整備に1,179万円を措置
- ・ 特別支援学校等教育事業に8,091万円、うち学校教材整備に1,120万円、学校図書整備に22万円を措置

■いきいき学び楽しむ生涯学習・スポーツの環境づくりに58億1,977万円

- ▶ 生涯学習の推進に31億8,699万円
 - ・ 公民館事活動の推進に1億5,382万円を計上
 - ・ 図書館機能の充実では、移動図書館事業に1,847万円、子ども科学図書館事業に535万円を計上するとともに、新図書館等複合施設建設に24億円を計上
- ▶ 生涯スポーツの推進に26億3,278万円
 - ・ スポーツ活動推進として8,561万円、うち運動部活動等推進に361万円、スポーツ推進委員研修事業に100万円、高知市スポーツ賞の推進に22万円、総合型地域スポーツクラブ育成に11万円、障害者スポーツ活動推進に9万円、指導者養成・各種大会等推進事業に7,015万円、高知龍馬マラソンの開催に1,000万円計上
 - ・ 学校体育施設開放に1,393万円を計上
 - ・ 総合運動場に4億3,269万円を計上、うち社会体育施設の管理、各種スポーツ教室の開催、体育団体の指導等の運営補助として3億8,098万円、施設整備に5,000万円を計上
 - ・ 東部総合運動場の施設管理に2億2,187万円を計上、施設整備に2,600万円、多目的ドーム建設に17



億9,500万円を計上

- ・ 針木運動公園の管理運営に351万円、城ノ平運動公園の管理運営に601万円、土佐山運動広場の管理運営に146万円、西川複合集会所の管理運営に2万円、春野スポーツ施設の管理運営に192万円、ヨネッツこうちの管理運営に3,576万円を計上

■多様な文化を身近に親しむ環境づくりに6億41万円

- ▶ 芸術文化施策の推進に3億9,165万円
 - ・ 文化プラザの管理運営や財団の自主事業の開催など文化プラザ事業に3億1,467万円を計上
 - ▶ 「横山隆一記念まんが館」を核としたまんが文化の振興に5,271万円
 - ・ まんが館事業に4,521万円を計上するとともに、「まんさいーこうちまんがフェスティバル」活性化に200万円、フクちゃん誕生80周年記念事業として400万円を措置
 - ▶ 文化財保護と郷土の歴史学習の推進に1億5,605万円
 - ・ 自由民権記念館事業に1億2,353万円を計上
 - ・ 文化財保護に1,676万円を計上
 - ・ 埋蔵文化財調査に611万円を計上
 - ・ 市史の編さんに488万円を計上



4 地産の環

255億6,512万円



■山間の恵みを活かす林業の振興に1億740万円

- ▶ 林業の基盤整備に3,769万円
- ・ 林道維持・整備として3,426万円、うち林道開設改良に310万円、林道舗装事業に2,000万円を計上
- ・ 林業施設の災害復旧に150万円措置

■大地の恵みを活かす農業の振興に23億9,662万円

- ▶ 農業の基盤整備に11億8,585万円
- ・ 土地改良事業として1億2,839万円を計上。うち市単土地改良事業に6,900万円、土地改良施設適正化事業負担等に4,919万円計上
- ・ 農道水路維持整備事業として3億9,654万円を計上。うち農道用排水路維持管理事業交付金に3,570万円、春野広域農道整備に3億円、緊急防災土地改良浚渫として700万円を計上
- ・ 機場維持・整備に6億4,792万円を計上。うち機場整備に1億9,000万円を計上するとともに、春野仁ノ地区排水対策事業として3億1,700万円を措置
- ・ 農業土木施設災害復旧事業として1,300万円措置
- ▶ 域内外への安定供給を可能とする産地づくりに2億4,414万円
- ・ 園芸産地の育成に2億4,297万円を計上。うち営農支援事業補助に109万円、園芸用レンタルハウス整備事業補助に旧高知市域1,418万円、春野地域5,627万円を計上、農産物輸出促進事業補助に5万円、JA

- 春野が実施するキュウリ選別設備の高度化に1億7,139万円を計上、地産地消の推進に44万円を計上
- ・ 畜産農家の育成に72万円
- ▶ 農業の担い手の確保と育成に4,388万円
- ・ 農家育成・後継者対策として3,518万円を計上。うち農業経営基盤強化促進に3,178万円、農業後継者対策事業補助に37万円を計上するとともに、新規就農者等への支援として就農研修支援事業補助370万円を計上
- ・ 集落営農等の推進としてこうち農業確立総合支援事業補助500万円を計上
- ▶ 地域特性を活かす特色ある農業の展開に1億2,667万円
- ・ 中山間農業の活性化として9,123万円を計上。うち中山間農業活性化事業補助に600万円、ユズ産地化対策事業補助に100万円、飲料水供給施設整備に330万円、新たにユズ搾汁残渣有効活用事業補助に7,500万円を計上
- ・ 新たな水田農業への取組では、経営所得安定対策推進に1,215万円を計上
- ・ ECO農業の推進に1,098万円、うち有機市民農園管理運営に125万円、農業用廃プラスチック処理推進として回収処理費の一部助成に154万円、環境保全型農業推進事業補助に376万円措置、鳥獣被害緊急対策としてサル・イノシシ捕獲報償金等に1,232万円を措置

- ▶ その他の農業振興対策に7億9,608万円
- ・ 農業集落排水事業に3億2,500万円を計上

■海川の恵みを活かす漁業の振興に2億5,255万円

- ▶ 漁業競争力・経営体の強化に1,215万円
- ・ 漁業生産力の強化として、豊かな海の幸づくり推進事業補助に20万円、淡水魚増殖に350万円を計上、漁業経営対策に646万円を措置
- ・ 漁港の災害復旧に200万円
- ▶ その他の漁業振興対策に2億4,040万円
- ・ 春野地区漁業振興事業補助に617万円、春野漁港の施設整備等に2億600万円を計上

■独創性あふれるものづくりの振興に16億203万円

- ▶ 地場企業の飛躍に向けた支援に3,800万円
- ・ ものづくり受注拡大支援事業に123万円、ものづくり創生支援事業に1,400万円を計上
- ・ 商工業指導団体等補助に889万円を措置
- ▶ 企業誘致の推進に15億6,404万円
- ・ 操業・起業の促進として企業立地助成金に2億5,000万円を計上
- ・ 産業立地推進に13億円1,169万円、うち一宮産業団地開発に1億4,200万円、一宮産業団地の公共施設整備に9億9,900万円、仁井田産業団地開発に7,860万円を計上

■魅力あふれる商業の振興に9億7,798万円

- ▶ 地域特性を活かした商業集積の形成に3,213万円
- ・ 産業活性化共同事業補助237万円、TMO事業推進などの中心商店街等活性化推進に300万円、中心市街地等の空き店舗利用の新規創業者等に対する空き店舗活用支援に464万円、中央公園で年末年始に開催するイルミネーションフェスタに120万円、まちあるき促進として7万円、新たにチャレンジショップ事業補助として300万円を措置
- ・ 街路市の振興に1,610万円を計上
- ▶ 経営力の強化に8,039万円
- ・ 経営力強化の支援として制度融資預託に3,964万円を計上
- ▶ 流通基盤の強化に6億1,200万円
- ・ 流通基盤の強化として市場事業に6億1,200万円を計上

■あったか土佐のおもてなし観光の充実に200億8,059万円

- ▶ 新たな観光魅力の創造に187億8,934万円
- ・ 観光資源の磨き上げと創出では、龍馬の生まれたまち記念館の管理運営に2,297万円を計上のほか、よさこい情報発信としてよさこい情報交流館運営に3,334万円、あったか土佐おもてなし観光事業に850万円を計上
- ・ 祭り・イベントの充実とコンベンションの振興では、大会等歓迎事業に150万円、よさこい祭り補助に1,400万円、土佐のまつり補助に452万円、プロ野球キャンプ対策強化に1,200万円、プロゴルフトーナメント開催支援に250万円を計上
- ・ 観光客誘致推進事業補助では、よさこい全国大会実施に2,343万円、よさこいシリーズ観光宣伝に145万円、龍馬に大接近事業に832万円を計上
- ・ 客船寄航誘致事業では、大型船舶寄港誘致推進事業に2,485万円を計上
- ・ 収益事業に184億2,900万円
- ▶ 観光客誘致と情報発信に1億925万円
- ・ 観光宣伝事業に292万円、スーパーよさこい事業補助に100万円を計上
- ▶ まごころ観光の充実に11億8,200万円
- ・ 受入態勢の充実として、観光周遊バス運営補助に1,000万円、桂浜ゴールデンウィーク等渋滞対策に900万円を計上
- ・ 国民宿舎運営事業に11億6,300万円を計上

■いきいきと働ける社会づくりに1億4,795万円

- ▶ 地域における雇用創出に2,030万円
- ・ 就労支援員の配置とともに市独自の雇用の発掘や就職の斡旋を行う無料職業紹介事業等に272万円を計上したほか、自発的な雇用創造事業に対して国が支援する事業である地域提案型雇用創造促進事業に1,301万円を措置
- ・ 市単独の雇用対策として439万円を計上
- ▶ キャリア教育の推進に37万円
- ・ 中学生体験活動推進に37万円を計上
- ▶ 労働環境の整備に1億2,290万円
- ・ 高知勤労者福祉サービスセンターの貸付預託に6,500万円、運営補助に1,236万円、加入者の拡大を図る加入促進事業に21万円を措置
- ・ 高齢者就業機会確保事業等補助に2,120万円、こうち勤労センター改築事業利子補助に15万円、勤労者交流館の管理運営に1,059万円を計上、シルバー人材センター街路市活性化事業補助に400万円を計上

5 まちの環

252億8,542万円



■美しく快適なまちの形成に23億8,943万円

- ▶ バランスの取れた都市の形成に20億3,570万円
- ・都市基盤整備として、都市計画基礎調査に342万円、新たに都市計画施設再編調査に100万円、立地適正化計画策定に400万円、官民連携基盤整備調査に300万円、空家等の調査に979万円を措置
- ・良好な市街地の形成のため、旭駅周辺市街地整備に15億7,790万円を措置、うち住宅市街地総合整備に4億4,000万円、下島土地区画整理に3億7,380万円、中須賀土地区画整理事業に4億2,410万円、旭町2丁目都市再生住宅建設に3億2,500万円、新たに国道33号整備促進に1,500万円を計上
- ・住居表示の推進に2,330万円
- ・都市と農山村交流の推進として1億9,629万円を計上
- ・移住・定住の促進として、移住・定住ふれあい交流事業に62万円、かがみ暮らし体験滞在施設管理に243万円、新たに三世同居等Uターン支援事業補助に150万円、高知中央広域移住・定住PR事業に40万円を計上
- ▶ 良好な景観の形成に2,068万円
- ・景観形成推進のため、幹線市道清掃に1,817万円、景観形成誘導助成や大規模建築物等のオープンスペース、屋上・壁面の緑化誘導等を目的とした助成などに251万円を計上

■にぎわう市街地の形成に6,472万円

- ▶ 都市中心核の形成促進に372万円

- ・中心市街地の活性化として中心市街地活性化計画推進に372万円を計上
- ▶ 中心市街地の回遊性の向上に600万円
- ・交通バリアフリーの推進に600万円を計上
- ▶ 街なか居住の推進に5,500万円
- ・市街地中心部への居住推進や高齢者の居住の安定に向けて、優良賃貸住宅推進に5,500万円を措置

■便利で快適な交通網の整備に52億1,389万円

- ▶ 広域交通ネットワークの強化に2,262万円
- ・交通ターミナルの充実として、はりまや橋観光バスターミナル管理運営に1,700万円、高知駅前広場管理運営に562万円を計上
- ▶ 都市交通の円滑化に35億220万円
- ・街路整備に20億2,020万円、うち旭町福井線第3工区の整備に4億5,300万円、県施工による高知駅秦南町線街路整備に12億5,920万円、愛宕町北久保線、曙町西横町線、鴨部北城山線街路整備に3億600万円を計上
- ・道路新設改良に2億5,700万円を計上、五台山56号線、大津1号線、高知街4号線、潮江8号線などを継続して整備
- ・橋梁整備に5億1,900万円を計上、うち橋梁の点検や修繕経費として5億万円を計上
- ・生活道路改良に4億3,200万円、道路舗装に2億3,000万円、道路網再編成に4,400万円を計上
- ▶ 公共交通の再生と活性化に2億2,573万円
- ・公共交通対策として鉄道軌道輸送対策事業補助に

1,501万円、生活バス路線運行維持助成に1億2,800万円、廃止代替バス運行助成に5,302万円を計上するほか、公共交通利用啓発として公共交通利用推進に60万円、地域公共交通推進として鏡・土佐山地域に737万円を、新たに春野地域におけるデマンド型タクシー実証運行等に600万円を計上

▶その他の交通対策として駐車場事業などに14億6,333万円

■安全安心の都市空間整備に176億1,738万円

▶災害に強い都市基盤の整備に9億5,104万円
 ・がけくずれ対策推進として住家防災対策に3,000万円を計上

・都市下水路整備に4,850万円、維持管理に9,026万円を計上、河川水路等整備として市単河川水路整備に6,000万円、市単河川水路浚渫に7,000万円、排水機新設改良に1億1,000万円、市単河川浸水対策に1,800万円を計上

・河川水路維持管理に2億4,034万円
 ・市道の災害復旧に600万円、がけくずれ住家対策として600万円を措置

・防災公園の整備に8,000万円
 ・地籍調査の推進に1億5,964万円を計上
 ・その他の防災対策として、道路雨水枡清掃に650万円を措置

▶南海地震対策の推進に39億693万円
 ・住宅の耐震診断・耐震改修等に助成する木造住宅耐震化等に5億410万円を計上、うち老朽住宅除却事業補助に2,000万円、住宅塀改修推進に410万円を措置

・津波防災対策事業に1億7,535万円を計上、うち津波避難ビルへ資機材整備など津波防災対策に9,000万円、津波防災避難路等整備に3,000万円を計上するほか、農業用タンク津波対策事業補助に965万円、また、新たに東部環境センター津波防災対策事業に1,600万円、津波浸水対策に700万円、県の津波避難対策事業への負担金として1,425万円、長期浸水エリア住民を対象とした防災意識調査に250万円を計上

・橋梁耐震対策に3,000万円を計上
 ・市有建築物耐震対策として、鏡庁舎建設に1億3,500万円、春野庁舎建設に2億3,000万円を計上

・本庁舎の耐震対策として新庁舎の建設に27億3,400万円を計上
 ・震災対応力強化対策として、災害用井戸の整備に780万円、家具転倒防止対策に236万円、災害対応型

給油所整備促進事業補助に1,000万円を計上、また、防災教育推進地域指定、防災キャンプなどに100万円、職員等の防災士育成に171万円、救急救命講習に219万円を計上するほか、新たに地区防災計画策定推進に300万円、地震火災対策計画策定に1,000万円を計上

▶消防・救急体制の強化に51億2,225万円

・常備消防に31億2,782万円。うち消防無線システムの管理運営に552万円、救助隊強化推進に681万円を計上するとともに、緊急消防援助隊等活動体制整備に448万円を措置

・非常備消防に1億7,657万円を計上。うち消防団への装備品等の緊急整備に1,800万円を措置

・消防施設整備として、小型動力ポンプなど消防資機材整備に350万円、災害時の消防水利確保のための防火水槽や消火栓設置に5,635万円を計上するとともに、防災拠点整備として（仮称）北消防署建設に13億4,100万円を計上し、新たに、高須分団屯所建設に4,000万円、（仮称）中央消防署建設に係る基本・実施設計等に7,000万円を計上

・消防車両整備として2億7,400万円、高規格救急車の導入に3,000万円を計上

▶多様で良質な市営住宅ストックの形成に9億8,044万円

・既存市営住宅の改善に5,000万円、市営住宅整備に8,280万円を計上

・老朽公営住宅の建替として、東石立町・筆山町公営住宅建替に5億円を計上

▶交通安全対策の推進に1億7,131万円

・交通安全施設整備では、カーブミラーやガードレール、安全柵の設置等に6,300万円を計上

▶水道ライフラインの強化に61億403万円

・上水道事業として、送配水施設整備事業に1億5,103万円、漏水防止対策事業に1億8,860万円、災害対策事業として送水幹線の二重化や基幹施設の耐震化、非常用貯水槽設置などに33億2,257万円を計上、増補改良事業に24億820万円、簡易水道施設改良に2,340万円、仁淀川・鏡川水系の水源林地取得や水源地域との交流事業に1,023万円を計上

▶墓地等の整備に3億4,639万円

・市有墓地の管理運営に3,878万円を計上

・斎場の管理運営や整備に3億762万円を計上、うち新たに火葬炉設備の更新に1億1,600万円を計上

▶その他の居住空間の整備として、住宅リフォーム事業補助に3,500万円を計上

6 自立の環

8億9,714万円



■さらなる広域連携・交流の推進に2,528万円

- ▶ 広域行政の推進に823万円
- ・ 行政間の連携・交流として、仁淀川流域交流に70万円を措置
- ・ 定住自立圏の形成推進に521万円、うち定住自立圏によるまんが文化連携事業に10万円を計上
- ・ 連携中枢都市圏の推進として、新たに構想推進事業に140万円を計上
- ▶ 多様な主体との連携・交流に1,705万円
- ・ 姉妹・友好都市交流として、外国青年国際交流員招致に1,077万円、自治体職員協力交流に238万円、国際交流事業補助に45万円、北見市姉妹都市交流事業補助に15万円、姉妹・友好都市教育交流推進に180万円を計上するほか、蕪湖市友好都市交流事業として50万円を計上

■持続可能で自立した行財政の基盤づくりに8億6,309万円

- ▶ 効率的で信頼される行政運営に1億183万円

- ・ 外部監査制度の推進に1,080万円を計上
- ・ 職員研修に2,341万円、うち待遇等の一般・特別研修に269万円、自治大学校等への派遣研修に1,091万円、部局研修に682万円を計上するとともに、職員の能力や意欲の向上を図ることを目的とした自主企画型派遣研修事業に300万円を措置
- ・ 自治体コールセンターの運営に5,472万円を計上
- ・ 公共施設マネジメント推進に1,000万円を措置
- ▶ 情報化の推進に7億6,127万円
- ・ 電算管理に7億4,805万円を計上



■住民による自治の環境づくりに877万円

- ▶ 地域コミュニティの再構築に877万円

平成 28 年度

高知市の予算概要

— 夢と希望にあふれる「にぎわいと暮らし安心のまちづくり」 —

2016



KOCHI CITY